

● 世界の主な火山活動

平成 24 年（2012 年）5 月に噴火したと報告された主な火山（日本を除く）は下図のとおりである。

ポポカテペトル（メキシコ）（図中 A）

先月に引き続き、連日にわたって火山灰や岩塊の放出があった。2 日から 3 日の噴火では、メキシコシティ（北西 70 km）の一部をはじめ、多くの町で降灰が報告された。また、12 日の噴火では噴煙が火口縁上 4 km まで上がり、トラスカラ州の多くの自治体で降灰が報告された。8 日と 10 日、12 日には火山灰の影響でプエブラの空港が閉鎖された。

フェゴ（グアテマラ）（図中 B）

19 日に地震活動が活発化し、5～10 分間隔で爆発音が聞かれた。噴煙は火口縁上 5 km まで上がり、溶岩流は長さ 1 km に及んだ。また、火砕流も発生した。22 日以降も断続的に爆発が発生しており、溶岩流や火砕流、降灰が確認されている。

ネバデルルイス（コロンビア）（図中 C）

22 日に火山灰噴出の可能性を示唆する地震が発生したが、当日は悪天候のため確認できなかった。29 日には火山活動が著しく活発化し、火山灰の噴出が確認された。ガスと火山灰の噴煙は火口縁上 1 km まで上がり、70km 以上離れた町でも降灰が報告された。

（以上、米国スミソニアン自然史博物館の GVP（Global Volcanism Program）による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁：「火山観測指針（参考編）」による。）

